

日本補完代替医療学会誌投稿規定

Japanese Journal of Complementary and Alternative Medicine

I. 編集方針について

1. 本誌はオリジナルの論文を、原著、短報、速報、症例報告、編集者への手紙、総説、Current Views、臨床現場シリーズなどとして掲載する。
2. 本誌の投稿規定は、基本的に国際医学雑誌編集者委員会「International Committee of Medical Journal Editors (ICMJE)」制定のガイドライン (Uniform Requirements for Manuscripts Submitted to Biomedical Journals) 第5版に準じる。(※詳細は Annals of Internal Medicine 1997; 126: 36-47 を参照のこと)
3. 本誌は補完代替医療関連領域のオリジナルな論文で、他誌に未発表のもの、掲載予定でないもの、あるいは現在投稿中でないものを掲載する。なお、補完代替医療の定義は「現代西洋医学領域において、科学的未検証および臨床未応用の医学・医療体系の総称」とする。また、投稿の際、米国NIH代替医療分類を参考にした下記の分類 (1)~(7) を参照にされたい。

(1) 代替医学システム (Alternative Medical Systems)

理論や療法のシステムがすでに確立されており、近代西洋医学より先に世界各地の独立した文化の中で行われてきた伝統医学のこと。鍼、灸、漢方等の伝統的東洋医学、アーユルベダ等のインド伝統医学など。

(2) 心身の作用 (Mind-Body Interventions)

体の機能や症状に対して影響を及ぼす心の作用のことで、行動科学的、心理学的、社会学的なアプローチによる療法のこと。認知行動療法、イメージ療法、催眠療法、音楽療法、芸術療法、カラー療法など。

(3) 生物学的療法 (Biologically Based Therapies)

自然や生物学的な観点に基づくプロダクトやそれを用いた療法のこと。食品・食物による栄養療法、サプリメントやビタミンを用いた栄養療法、ハーブ療法、アロマセラピーなど。

(4) 手技・身体療法 (Manipulative and Body-Based Methods)

体をマニピュレーションしたり、動かしたりする手技療法や身体的療法のこと。マッサージ療法、温泉療法など。

(5) エネルギー療法 (Energy Therapies)

体に源を発する場または磁気の場合からの、エネルギー医学の理論に基づく療法のこと。セラピュー

ティックタッチ、光療法、温熱療法、磁気治療など。

(6) 補完代替医療の基盤となる基礎的もしくは臨床的研究

免疫療法、血液レオロジー、フリーラジカル、抗加齢医学、環境医学、疫学調査など。

(7) その他、西洋現代医学領域において未応用の代替的高度先進医療など。

II. 投稿・掲載にあたっての条件

1. 投稿資格

投稿代表者1名は、本会々員であることを要する。その他共著者は原則として本会々員であることが望ましい。

2. 著作権

本誌がより広範の読者を対象にすることや電子化を考慮して、著作権は本学会に所属するものとする。

3. 誓約書

著者と編集部との間に定める二重投稿、同時投稿および著作権に関する誓約書(巻末に綴じ込み)を同封する。

4. 倫理規定

(1) 人体を対象とした研究では、世界医師会のヘルシンキ宣言の中で述べられているように、科学的小および倫理的規範に準じていなければならない。被験者には研究内容についてあらかじめ十分に説明し、自由意志に基づく同意を得る。

(2) 研究課題によっては、所属施設の倫理委員会またはこれに準ずるものの承認が必要である。

(3) 動物を対象とした研究では、動物愛護の立場から実験計画を立て、全実験期間を通じて適切な飼養管理や処理を行わなければならない。

(4) 著者は、自らの研究に関する全ての利害関係(資金面での企業の影響、学術研究上の競争など)について公表しなくてはならない。

5. 掲載の決定方法

投稿論文は複数の専門家による査読を行い、編集部が掲載の採否を決定する。査読の結果、原稿の修正を求められることがある。再提出を求められた原稿は返送日(発送した日)から2カ月以上を経過して再提出された場合は、新規投稿受付として取り扱われる。掲載は、原則的に掲載の採否が決定した順とする。

III. 投稿論文のフォーマット

1. 論文のまとめ方

論文のまとめ方については

①表紙 ②はじめに ③材料・方法 ④結果 ⑤考察
⑥結論 ⑦謝辞 ⑧文献 ⑨図表 ⑩図説 ⑪要旨
(日本語) および Abstract (英語) の項目に基本的に従い、分かりやすくまとめる。それぞれの項目の内容については、十分に意を尽くす必要があるが、臨床試験報告(特に、ランダム化比較試験)の場合は、JAMA 1996; 276: 637-639に掲載されたコンソート声明(日本語訳; JAMA<日本語版> 1997年7月号: 74-77)に準拠することが望ましい。

2. 原著

(1) 本欄は、重要な問題の理解を実質的に進展させ、また広く一般の興味を引くような成果を報告する、未発表のオリジナルな研究論文を掲載する。

(2) 執筆要項

1) 投稿の仕方

原則としてワードプロセッサで印字されたものとし、A4サイズの用紙で、12ポイント活字とする。用紙は、上下約2cm、左右約3cmのマージンを設定して、頁番号は表紙を第1頁として抄録まで順次記入すること。(図表には頁数をつけない)

①表紙には次の項目を記載する。

論文表題(和英併記)、著者名(和英併記)、所属機関(和英併記)、連絡先(住所、電話番号、Fax番号、e-mailアドレス)、キーワード(5個以内の日本語および英語)、研究資金の助成源(科学研究費を含む)

②原稿は、オリジナル1部とコピー3部を編集部へ提出する。

③図や写真は、オリジナル4部を編集部に提出する。図表や写真が、カラーの場合は、カラーのものを4部提出すること。また、大きさはできるだけコンパクトなものが望ましく、十分に判読できる質のものとする。カラー図版での印刷を希望する場合は投稿書式にその旨を明記すること。

④本文、図表・写真を保存したCD-Rを掲載が決定した時点で提出する。

⑤CD-Rには修正後の最終版のみを保存すること。

⑥機種名、ソフト名を必ず記入すること。

2) 字数

原著の場合は、本文は文献を含めて原則として8,000字以内、写真・図・表8点以内(刷上り6頁まで無料)とする。

3) 要旨

400字以内とし、題目と共に別紙に記載する(所属や著者名は記入しない)。要旨は、項目順に、簡潔にまとめる。

4) Abstract

280 words以内(必ず英文タイプ打ち)とし、題目と共に別紙に記載する。文章の形式は、英文の「構造化抄録(structured abstract)の形式とし、Objective, Design, Methods, Result, Conclusionの順で記載する。題名は引用文献と同様、第一語の頭文字のみ大文字とし、また省略語を用いない。Abstractに省略語を用いる場合には、最初に正式名を示す。

(Abstractの内容は、著者の責任であるが、最終的に、当学会指定のnative speakerに文章表現や字句の校閲を依頼することができる。Abstractの校閲に関する経費は著者の負担とする。)

5) 文章表記

①原稿は横書き、ひらがな、新かなづかいを用い、正確な句読点をつける。外国語、外国人名、地名、薬品名は原語のまま用いる。しかし一般に日本語化している外国語は、カタカナを用いてもよい。

②度量衡の単位は、mm, cm, ml, dl, l, ng, µg, g, kgなどの国際単位系を用いる(半角文字で表記)。年号は西暦で統一する。

6) 参考文献

原則として主要なもの30件以内とし、引用順に本文と参考文献の頭に通し番号を付して(欧文および和文共に)並べる。但し、メーカーの発行する販売促進雑誌からの引用は認めない。文中、文献を示す数字は、文中の右肩付きとし、右片括弧に入れる。

①表題・著者数；

文献の表題は、副題も含めてフル・タイトルを記す。

参考文献の著者や編集者は、3名まではすべて記載。著者間はコンマで区切る。4名以上の場合は「ら」、または「et al」とする。

②雑誌；

著者名。論文題目。雑誌名(類似の誌名のあるときは発行地、英文誌名はIndex Medicus採用の略語を使用)。西暦発行年；巻(号)；起始頁-最終頁。

但し、巻数の記載を欠く雑誌を引用する場合には、巻数の代わりに通し号数または発行年月日を記載する。

例1) 鈴木信孝。代替医療の海外での現状。医学のあゆみ。1999; 191(4): 293-297。

例2) Eisenberg DM, Kessler RC, Foster C, et al.

Unconventional medicine in the United States. Prevalence, costs, and patterns of use. *N Engl J Med* 1993; 328(4): 246-252.

③書籍；

著者名. 書名. 版数. 発行地. 発行所名. 西暦発行年：起始頁-最終頁.

例) 鈴木信孝. 「適切な代替医療」選択のポイント. 第1版. 東京. 日本医療情報出版. 2001: 71-88.

④古文獻；

江戸期以前の図書については、原則として、編著者名. 書名. 成立年. 刊行年（もしくは抄写年）. 発行者. 発行地. および該当丁（葉）数（表・裏）あるいは、頁数もしくは項目名を記し、稀観本については所蔵者名も明記する.

例) 吉益東洞. 薬徴. 1828. 1980. 財団法人漢方医学研究所. 東京. 145-150.

⑤その他；

現代中国の文献の場合は、日本で使用されている漢字に直して記載する.

⑥引用を避けるもの；

学会抄録. 私信. 未刊行物.

但し、口頭でなく、文書による通信は本文中（カッコ内）に挿入しても良い。受理されて、まだ、掲載されていない論文は、雑誌名を記して「印刷中」とする。投稿したがまだ受理されていない論文から得た情報は、本文中に（未刊行）として引用する.

7) 図表の説明は別紙に記入する。本文中に最初に引用された順番に図と表を別々に通し番号を付け、各々に、短いタイトルを付ける。図の裏面には、ラベルを貼付し図の番号、上下のしるし、著者名、論文タイトルを記入する。既発表の図（写真を含む）表、その他を引用、転載される場合には、あらかじめ著作権所有者の許可を得ること.

8) 表題中には、略語、商品名等表題に適当でない言葉は原則として用いない.

9) 著者校正は1回のみとする.

10) 掲載後の原稿（図表を含む）ならびにCD-Rは、原則として返却しない.

3. 短報

(1) 本欄は、広く読者の興味を引くような話題を扱った短い報告や専門外の読者の興味を引く新しい報告について掲載する。本欄に掲載された後に、同じ内容の原著は本誌では掲載しない.

(2) 執筆要領

1) 本文は文献を含めて原則として1,500字以内。写真・図または表は2点以内（刷上り2頁まで無料）.

2) 要旨は150字以内、Abstractは100 words以内とする.

3) キーワードは3個以内で選定し、日本語と英語で明記する。他は原著と同じ.

(3) 査読を経て、編集部で採否を決める.

4. 速報

(1) 本欄は、傑出した発見に的を絞った独創性が高く、かつ速報性の有る未発表のオリジナルな研究の報告、もしくは、予報的な報告を掲載する。本欄に掲載された後に、同じ内容の原著、短報は本誌では掲載しない.

(2) 執筆要領

1) 本文は文献を含めて原則として1,500字以内。写真・図または表は2点以内（刷上り2頁まで無料）.

2) 要旨は150字以内、Abstractは100 words以内とする.

3) キーワードは3個以内で選定し、日本語と英語で明記する。他は原著と同じ.

(3) 査読を経て、編集部で採否を決める.

5. 症例報告

(1) 本欄は、貴重な臨床症例や今後の臨床に活かされる内容で、他誌に掲載されていないものとする。本欄に掲載された後に、同じ内容の原著、短報や速報は本誌では掲載しない.

(2) 執筆要項

1) 本文は文献を含めて原則として3,000字以内。写真・図または表は4点以内（刷上り3頁まで無料）.

2) 要旨は200字以内。Abstractは100 words以内とする.

3) キーワードは3個以内で選定し、日本語と英語で明記する。他は原著と同じ.

(3) 査読を経て、編集部で採否を決める.

6. 編集者への手紙

(1) 本欄は、日常の診察・研究活動上得られたヒント、思いつき、発見、反省点、盲点など、また、本誌に掲載された論文に対する各種の意見（追加・討議・意見・希望など）を原著論文等の形式ではなく、日常的な文体（例えば口語文）や文章構成で書いたものとする.

(2) 執筆要項

1) 本文は文献を含めて原則として1,000字以内。写真・図または表は1点以内（刷上り1頁まで無料）.

2) 要旨・Abstractは不要.

3) キーワードは3個以内で選定し、日本語と英語で明記する。他は原著と同じ.

(3) 査読はないが、編集部で校閲を行い、採否を決める.

7. 総説

(1) 本欄は補完代替医療関連の問題について、最近における内外の知見を総説的に記述したものとする.

著者の原著報告であってはならない。但し著者の業績を中心に述べることは差しつかえない。原則として依頼原稿とする。

(2) 執筆要項

- 1) 本文は文献を含めて原則として20,000字以内。写真・図・表は8点以内。
- 2) 要旨は400字以内。Abstractは300 words以内とする。
- 3) キーワードは8個以内で選定し、日本語と英語で明記する。他は原著と同じ。

8. Current Views

(1) 本欄は補完代替医療関連の問題について、医学領域以外の最新の視点を総説的に記述したものとす。具体的には、補完代替医療の社会的・経済的側面、倫理的側面などがあげられる。著者の原著報告であってはならない。但し著者の業績を中心に述べることは差しつかえない。原則として依頼原稿とする。

(2) 執筆要項：総説に準ずる。

9. 臨床現場シリーズ

(1) 本欄は、臨床現場における補完代替医療の取り組みやその問題点、今後の展望などを総説的に記述したものとす。著者の原著報告であってはならない。ただし著者の業績を中心に述べることは差しつかえない。原則として、依頼原稿とする。

(2) 執筆要項：総説に準ずる。

IV. 会報

1. 理事会

主に、本部理事会から会員への活動報告等。

2. 学会各部活動報告

- (1) 学会の各委員会の活動状況の報告
- (2) 学会員の動態報告
- (3) その他

3. 巻頭言

- (1) 原則として会長以下、理事等役員が執筆する。
- (2) 学会のあり方・将来について等、学会の基本的な姿勢を提言する。

4. 紹介

- (1) 図書や書籍の紹介。
- (2) 補完代替医学関係の研究施設等の紹介。
- (3) その他、国内外の学会の動向等に関する紹介。
- (4) 原則として、10,000字（刷り上がり5頁）以内。刷り上がり5頁以内であれば、図、表、写真等も掲載可。

5. 会長講演・特別講演・教育講演・シンポジウム

これらは、いずれも学術大会の際に、行われた講演やシンポジウムを学会誌に再録するものである。依頼原稿を原則とする。但し、執筆要項は、学術大会時の発表時間等により変更されることがある。

V. 掲載料および図版作製・別刷作製費

1. 掲載が無料であるページ数は、論文の区分別の刷上り頁数で決められている。それを超過した場合は、超過料金を実費で徴収する。また、特殊な図・写真についても点数に関係なく実費を請求する（通常の印刷費以外に費用を必要とする場合を全て含む）。図表は、原則として、そのまま写植して掲載できる見やすいものとする。

2. 別刷は著者の希望によって50部単位で希望数を作製し、実費を徴収する。依頼原稿については、50部を著者に無料で謹呈する。但し、50部を越えて希望する場合は実費を徴収するものとする。

それぞれの費用は次のように計算する。

(1) 頁超過料金：1頁につき15,000円。

(2) 図版作製費：カラー印刷、トレースまたは修正を要したものは実費を請求する。カラー印刷の追加料金はA4 1頁ごとに80,000円とし、1頁内にカラー写真が3枚以上ある場合は、別途写真1枚あたり4,000円を加算する（いずれも消費税は別途加算）。

別刷は、100部程度まではカラー印刷費用を加算しないが、それ以上の部数については、あらかじめ見積りをする。

(3) 別刷作製費：別刷は50部単位で作製し、実費を徴収する。詳細は編集部にお問い合わせのこと。

VI. 送付原稿と送付先

原稿は、写真・図表を含め4通（本文3通はコピーで可、写真・図表はオリジナル4点）。原則として原稿及び写真・図表は返却しない。また、巻末とじこみの「誓約書」および「投稿書式」に必要事項を記入の上添付すること。書留便、又は宅配便で送付する。送付先は下記まで。表に「原稿在中」と朱書すること。

【原稿の送付先】

〒920-8640 石川県金沢市宝町13-1

金沢大学大学院医学系研究科

補完代替医療学講座

編集委員長 鈴木信孝 宛

TEL: 076-265-2147 FAX: 076-234-4247

e-mail: pcam@med.kanazawa-u.ac.jp

平成 年 月 日

誓 約 書

日本補完代替医療学会編集部 御中

原稿名： _____

上記投稿原稿はその内容が他誌に掲載されたり、あるいは投稿していないことを誓約致します。
また掲載後のすべての資料の著作権は日本補完代替医療学会に属し、他誌への無断掲載は致しません。

著 者：

1. _____ (印)
(会員番号 _____)

2. _____ (印)
(会員番号 _____)

3. _____ (印)
(会員番号 _____)

4. _____ (印)
(会員番号 _____)

5. _____ (印)
(会員番号 _____)

6. _____ (印)
(会員番号 _____)

7. _____ (印)
(会員番号 _____)

8. _____ (印)
(会員番号 _____)

9. _____ (印)
(会員番号 _____)

10. _____ (印)
(会員番号 _____)

(※複写して使用して下さい)

日本補完代替医療学会誌投稿書式

【送付書類チェックリスト】

- 添え状
- 投稿原稿4部（本文，図，表）
- 誓約書（二重投稿，同時投稿および著作権）
- 投稿書式（本紙）

【原稿の種類】（該当するものに「レ」印を記入して下さい。）

- 原 著
- 短 報
- 速 報
- 症例報告
- 編集者への手紙
- 総 説
- Current Views
- その他（ ）

原稿が，原著，短報，速報，症例報告の場合には以下の分類に該当するものに「レ」印を記入して下さい。

- 代替医学システム
- 心身の作用
- 生物学的療法
- 手技・身体療法
- エネルギー療法
- 補完代替医療基盤研究
- その他（ ）

原稿の頁数（表紙，本文，文献，要旨および Abstract）： _____

図の総数： _____， 写真の枚数： _____， カラー図の枚数： _____

表の総数： _____

投稿原稿にカラー図が含まれている場合は該当する方に「レ」印を記入して下さい。なお，記入がなかった場合，白黒図版にて印刷します。

- カラー図版での印刷を希望（図 _____）
- 白黒図版での印刷を希望

（※複写して使用して下さい）